

学校
法人 内丸学園
盛岡幼稚園

園
報

第273号
(3月)
2025

深い学びをめざして

学校法人内丸学園 盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

弥生3月を迎え子ども達の新年度の進級・進学に備える時節となりました。

次代を担う幼児の豊かな育ちをお預かりする私共は、目標とした保育活動の成果を自ら振り返り、次の育成に継承して新たな計画を立てなければなりません。

最近の私達は、遊びが学びを標榜する幼児教育現場でも「深い学び」について改めて共有課題として掲げております。

子ども達が日常の保育活動の中で身に着けた様々な知識や技能の学びが、遊び活動の中で新たな課題に直面した時に、友達との話し合いや確認を通し主体的に課題の解決に向かう資質や能力の育ちを重視して「深い学び」として表現するようになりました。学習指導要領改訂

の「主体的・対話的で深い学び」の表現です。

まずは、自分自らが主体的、自発的な活動を通す学び、そして友達・他者との関りで話を聞き自分の考えを述べ対話を通す学び、さらに加えて課題解決が何であるかを考えて対応するプロセスとして、問題が何であるかを解釈し考える、構想し創造するプロセス、解決のため失敗を恐れず挑戦する行動などを「深い学び」と解説されております。

そのための学習の過程として

- ① 課題が何であるか、課題の設定
- ② 課題理解の情報の収集
- ③ 解決のための問題の整理・分析
- ④ 解決のために行動・挑戦
- ⑤ 結果のまとめ、達成感・評価

と一連の学びの過程を示して、幼児期の保育活動から小学校・中学校の

学びの発達に応じた継続目標とされておられ、幼児期は幼児としての発達に応じたプロセスを重視した学びの過程になります。

さて当園での日頃の深い学びの実態はどうでしょうか。年少3歳児クラスは、1学級35人を2学級に分け、それぞれ担任を配属し個別的関り育ちを重視しております。園児は協働的な活動より個別的自発性の強い行動が多いのが特徴です。それに対し4歳、5歳児クラスは、自主的な活動性に加え対話的、協働的活動を意識づけ仲間との協調性の育ちを心がけ、深い学びとしての資質や能力の育ち活動に沿うように指導しております。

このように指摘される「深い学び」ですが、幼児期の子ども達は毎日の遊びや計画されている行事を行う中で、子ども自身は、幼児ならではの無邪気に無意識ながら上記に示した①から⑤の「あれこれ何?」「なんだか調べてみよう」「こうしてみようか」「これどうすれば?」「あれ?こうなったよ」等の学習過程を行っているが実態です。

要するに保育活動で深い学びの育ちのために何が重要かは、保育者

が上記の学習過程を意識して、子ども達に「よく気が付いたね」「そう考えたんだ」「よく試してみたね」「失敗したけどまたやって見よう」等、子どもに寄り添う声かけが必要で、無意識を意識づけたり、達成感を充実させたりすることが極めて指導として大切であることが実践している保育者の感想です。

従って、日々の生活行動で親御さんも含めて前述した学びの過程プロセスを意識づけする行いが重要だと考えております。

是非その対応をご理解しご協力いただければ幸いです。



「これどう作る?」「こうすれば?」

Aクラス卒業おめでとう!

卒業おめでとう

Aクラス担任 中村真子

無事に卒業を迎えられること、心から嬉しく思うと同時に、寂しい気持ちでいっぱいです。集団生活の中で、いろいろなことを感じたり、学んだりして、たくましく成長したことを思います。

「年長さんだからできる事」を言葉に、様々な行事を友達と協力して頑張ってきました。4月、鯉のぼり掲揚式の時はまだまだ幼い顔つきでダンスを披露している姿が、昨日のことのように思い出されます。それから一息つく間もなく、次々行事へ取り組みました。トトロランドでは小さい子たちにも優しく接している場面を至る所で見かけ、優しい気持ちで自然と育っていることを嬉しく思いました。遊びも行事も常に全力で、楽しもうとする姿勢は素敵なお友達のひとつだと感じています。

できなかったことができるようになった瞬間、時には友達とぶつかり合いながらも解決しようと考える瞬間、先生と一緒に〇〇したい!と言



Aクラス『卒業おめでとう!』

つてくれた瞬間、どれも大切な思い出で、ずっと大切な宝物です。たくさんの瞬間を私達も一緒に味わうことができ、本当に幸せです。様々な思い出と共に卒業を迎えることができたのも、温かく見守り支えてくださった保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。園生活で共に過ごしたお友達との絆を大切にしながら、小学校でも頑張る子ども達の姿を、これからも応援しています。いつまでもここにいてね◎

Aクラス保護者の方から

盛岡幼稚園での三年間

Aクラス 岩崎浩光(類)

三年前の入園式。キミのすごく不安そうな表情が今や懐かしい。月日が流れるのは、本当に早い。そうやっていつしかサンタさんも怖くなくなるのだろうか、。

運動会などさまざまな行事はもちろんのこと、個人的には、日々の登降園が印象深い。

朝、キミの機嫌をそこねないで、無事に園の玄関に連れていくのが私たちの1番の大仕事。たまには『行きたくない!』と叫んで私たちを困らせたものだ。

園の玄関では、元気にあいさつする子やイヤイヤする子がいたり、『前髪きったんだよ』なんて話す女の子がいたりして。一方でお迎えは、キミに会いたくて会いたくて震えてたんだよ。

そっと教室を覗いてキミが気付くまでのリアル保育参観。おつ、今日は、友達と仲良く絵本みてるな〜とか。Aクラスになり、すっかり園にも慣れてくれたみたい。

帰り際、ぎゅっと手をつなぎトコトコ歩きながら、『今日も幼稚園楽しかったよ!』と言うキミの笑顔がどんなに私たちを明るくしてくれたのだろう。

その笑顔の裏には、友達の優しさやおいしい給食そして先生たちの全力のサポートのおかげという事を忘れてはいけない。すべてに感謝。みんなありがとう。

~ピカピカの一年生~

仁王・桜城・城南・附属・山岸
上田・仙北・杜陵・中野・永井
大慈寺・赤石
計12小学校へ就学します!!

給食

人気メニュー

Aクラスで人気のメニューをご紹介します!

- 1位 からあげ
- 2位 カレー
- 3位 じゃじゃ麺



進級おめでとう！

友達に「ありがとう！」

Bクラス担任 新沼 弥英

あつという間に一年が経ち、もうすぐ進級することに期待感を持ちながら、今までの日々や遊びを振り返っているところです。

この一年、子どもたちは「やってみよう！」の気持ちから出てくるアイデアで様々な『○○ごっこ』を楽しんでいました。お店屋さんをしたり、動物になりきったり、そのために必要なものを作ったり…と次から次へと浮かぶアイデアに驚きの毎日でした！その中で友達を気にかけて、助けたりする姿もありました。先日の劇遊びの発表も仲間の力を借りて緊張を乗り越え、終わった後には笑顔、そして友達とお互いを褒め合っている姿もみられました。時には思い通りにいかず怒ったり、泣いたりして友達に気持ちをおぶつけることもありましたが、自分のことだけでなく、友達の良さにも気づけるようになった姿に嬉しくなりました。子どもたちにとって友達の存在はとてつもなく大きかったよ

うに感じます。

友達との出会い、別れとともに、

様々な行事も経験し、また一つ大きくなった子どもたち。これからもクラスみんなでたくさんのことに挑戦しながら一人一人が成長していく姿を楽しみにしています！子どもたちを温かく見守り支えてくださったお家の方々に感謝いたします。一年間ありがとうございました。

友達と一緒に♪

C1クラス担任 村松千尋

毎朝、おはようブックのページをめくって「もう少してBクラスだね」「早くピンクバッチになりたい！」と、進級への意識も出てきた子どもたち。入園当初を振り返ると、大好きなお家の方と離れての幼稚園生活に、泣いている子や戸惑っている子もいました。最初は「先生と一緒に」「だったのが、いつの間にか」「友達と一緒に」になり、今の姿へつながっているのだと感じています。

先日の保育参観では、絵本『もりのおふろ』の劇ごっこをしました。普段からお風呂ごっこをして遊んでいる子も多く、練習を始めると、友達と一緒に体を洗う仕草や繰り

返しのセリフを楽しみながら、役になりきって取り組む姿が…安心して自分を表現出来るようになったのだな、と嬉しく思った瞬間でした。最近帰りの集まりで、翌日の当番の子を当てる「お当番クイズ」をしているのですが「○○が得意です」「○○が好きな子です」などヒントを出すと、すぐに正解!!それも、今まで一緒に過ごして仲が深まってきた証拠。これからも友達がいるからこそその経験を大切に、Bクラスでも楽しく過ごしてほしいと思います。保護者の皆様には、ご理解ご協力を頂き感謝しております。一年間ありがとうございました。



C1 クラス劇ごっこ『みんなで背中をゴシゴシ！』

次はピンクバッチ！

C2クラス担任 齋藤由紀乃

緊張した表情や不安で涙が出ている子もいた四月。日を重ねることに好きな遊びを見つけて、少しずつ園生活に慣れてきました。たくさん友達ができ、次第に表情も明るくなり笑顔や笑い声がたくさん響くように。今では、楽しい会話や戦いごっこをして技を叫んでいる声、アイドルの歌を歌っている歌声等、三人とは思えない程の音量と賑やかさが心地よいくらいです。

二月に保育参観でお見せした劇ごっこ「おおきなななご」では、一人ひとりが元気に登場し、笑顔で発表することができました。練習では、いろんな役になりきりながら繰り返し遊び、自分の役を決め、少しずつ取り組んでいきました。自分の役を決める中でオリジナルの役になったり、みんなで力を合わせて抜いた大きなななごを「かぶスープにして食べたい」と子どもたちの意見を取り入れたりと、世界に一つだけのおおきなななごの物語になりました。友達と一緒に一つの劇を表現できたこと、お家の方に見てもらい褒めてもらえたことは、大きな成長へとつ

なると感じました。様々なことに挑戦し、できることがたくさん増えた一年間。四月からは、Bクラス！さらに心も体も大きくなり、元気がいっぱい、声が響き渡る日々を楽しみにしています。

みんな大きくなったね！

いちごクラス担任 齊藤綾

いちごクラスがスタートしてもうすぐ一年。入園・進級当初は少し不安を感じていた子どもたちも、お友達や担任とのやりとりを楽しめるようになったり、自分でできることが増えたりと、この一年での成長を改めて感じる日々です。

まだまだ小さい体で自分の思いを一生懸命伝える子どもたち。時には思い通りにならないことやお友達とぶつかることも経験しながら、たくさんの成長を見せてくれました。また、子どもたちの元気なパワーと笑顔はいつも私たちを励ましてくれました。

それでも！どんなに園で楽しく過ごしていても、やっぱりお父さんやお母さんが一番！お迎えの時の嬉しそうな表情からは、お家の方から愛情をいっぱいもらいながら過

ごしていることも伝わってきました。

日々大きくなっていく子どもたちの姿に嬉しさを感じる反面、あつという間に過ぎていく月日に少し寂しい気持ちになります。幼稚園部へと進級し、ワクワクすることをたくさん見つけて、さらに幼稚園生活が楽しいものになればいいなと願っています。一年間ありがとうございました。

ワクワクのいちごクラスへ

つぼみクラス 林崎裕子

男の子十四名、女の子四名の活発で元気なつぼみクラスの子どもたち。保育教諭との愛着関係を軸にし、ながら、一人一人が安心して過ごせるように、また、遊びを楽しむことができるようにと願いながら過ごしてきました。

一人一人がじっくり玩具にかかわって遊ぶ段階から、少しずつ保育教諭や友達と、簡単なごっこ遊びをするようになってきました。「いらっしやいませ、〇〇やです！」とイメージを膨らませて友達とやり取りする姿が出てきました。合同保育の時には、憧れのいちごクラスさん

の遊びに目をキラキラさせて見入ったり、遊びに入れてもらったり、様々な遊びを吸収中です。

最近では、自分の名前やマークだけではなく、友達の名前を呼んだり、「かばんはこっちにあるよ」と一緒に給食のエプロン袋をしまう姿も見られるようになってきました。簡単な身の回りのことにも挑戦しているところです。もうすぐいちごクラスさんのお部屋で遊べると、ワクワク楽しみにしている子どもたちです。これからも成長を楽しみにしています！



つぼみクラス『みんなでいただきます！』

初めての集団生活

ふたばクラス担任 相原恵津子

盛岡幼稚園で、初めて集団生活を経験し、早一年が経とうとしています。園での生活、経験が初めてのことばかりで、保育者と一緒に出来たことを喜び、友達の存在が気になり、名前を呼んでみるなど、微笑ましい光景をたくさんみることができています。一人ひとりと愛着関係を築いてきて、子どもが安心して自分の思いを表出できるようになっています。

0歳児クラスの特徴でもありますが、途中入園の子が数人います。新しく入る子に他の子は興味津々！気になるけどそつと遠くから見ている子、まるで「泣かないで！」と言っているかのようにおもちやを渡してあげる子…など、それぞれに表現の違いはありますが、関わりを持つとうとしていることが伝わり、人と人との繋がりが、人と触れ合う温かさを身近に感じることができ、とても嬉しく思う瞬間の一つです。

この一年間園で過ごす中で、目に見える成長を共に喜び合い、子どもの成長の瞬間に立ち会えた喜びは

計り知れません。

保護者の方々には、たくさんのご協力・ご理解頂いたこと、温かく見守って頂いたこと、感謝しております。ありがとうございます。



ふたばクラス『僕が！私が！お世話してあげるね！』

保護者の方から

3年間を振り返って

いちごクラス 佐藤夏織(優真)

息子が生後6か月で盛岡幼稚園に入園してから、早いもので3年が経とうとしています。

入園当初、後ろ髪を引かれる想い

で息子と離れる私をよそに、泣いて嫌がることもなく、すぐに園での生活に慣れた息子。先生方から愛情たっぷりに接してもらい、居心地よく過ごしている息子の様子を見て、一安心したことが昨日のことのように感じます。

この3年間、連絡ノートや送迎時の先生との会話を通して、息子の日々の成長をたくさん教えていただきました。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

最近の息子は、「憧れのCクラスさん」になるために、着替え、歯磨き、お風呂で体を洗う等々、自分の力で出来るように頑張っています。それだけでなく、お手伝いにも興味を湧いてきたようで、「ぼくに任せて！」と言って食器洗いや、ホットケーキ作りにも挑戦しています。まだ早いかなと思うこともあります。まだ早いかなと思ってもありますが、好奇心旺盛な息子のやる気を大切にして、どんどん挑戦させてあげたいと思っています。

幼稚園に進級後も、先生やお友達と一緒に素敵な思い出が出来ますように。今後ともよろしくお願いたします。

保育参観&保育参加のご感想

～Bクラス～

- ☆子ども達が友達と一緒に楽しんで劇ごっこをしていて、素晴らしかったです。
- ☆年少の保育参観での劇ごっこから大きく成長した子ども達の姿に、とても感動しました。家とは違う子ども達の様子を見ることができて嬉しいです。役の動物色の服を着る、という子ども達のアイデアも大成功で、みんな可愛い動物さんに見えました。
- ☆いつの間にか、とても長い台詞を覚えられるようになっており、さらに、他のお友達のサポートをしたりと、成長しているなあと、感心しきりでした。今から、もう来年が楽しみです！！

2月19日にCクラスが劇ごっこを、2月20日にはBクラスが劇を保育参観で披露しました。
2月4日～2月20日に保育部では初めて保育参加を行い、子どもたちの普段の生活や遊びを見ていただきました。
保育参観と保育参加へたくさんのご感想をいただきましたので、ご紹介します。

～保育部～

- ☆特別なイベントの参加も嬉しいですが、普段の園での様子が見れてとてもよかったです！
- ☆0歳からの古参メンバーの成長にグッときました！（いちごクラス）
- ☆イヤイヤ期真っ只中で悩むこともありましたが、先生方の子どもたちへの声のかけ方、上手に気持ちを切り替えさせたり、興味を引き出す姿が印象的でした。（つぼみクラス）

～Cクラス～

- ☆入園当初は登園時に泣いていた娘からは想像もつかないくらいに堂々としていて、心から楽しんでいる様子が伝わってきました。園で先生やお友達と過ごす時間が大好きになったようで嬉しくなりました。(C1)
- ☆家でも役になりきって練習し楽しそうな様子を見せてくれました。お友達や先生と本番を楽しむ笑顔は格別でした。(C1)
- ☆幼稚園に入ってから初めて、恥ずかしがらずに話したり、踊ったりしている様子を見ることができ、感動しました。(C2)
- ☆運動会から半年での成長が見られて嬉しかったです。子どもたちが先生を大好きなのも伝わってきました。(C2)



幼小の接続

学びの芽生え



子ども達が進学する小学校では、小1プロブレムが課題の一つとなっており、「幼小接続」の取り組みがより重要視されています。子ども達がスムーズに小学校に適応していくにはどうすればいいか。単に小学校で学ぶことを前倒しで習得することではなく、幼児期に育まれた力を土台に、小学校での学びや生活を積み上げていくことが大切であり、園と小学校のさらなる連携が求められています。

幼児教育は、遊びの中で色々な発見をし、興味を持ち、面白さを感じたり、根気強く取り組んだりしながら学びを深めていきます。「これはなんだろう?」「どうしてこうなるのかな?」「こうしたらどうだろう?」と、遊びを通じた様々な思考が「学びの芽生え」であり、小学校での意欲的に学習する力Ⅱ「自覚的な学び」へつながっていきます。幼児教育と小学校教育は学び方が異なるからこそ、相互理解が重要と考えております。

今年度は、年長児の小学校体験に加え、小学校の先生が園生活を参観し、意見交流する機会をもちました。鬼ごっこ、色水作り、虫捕り、観察園の野菜の世話や収穫など、様々な遊びや活動の中で、気づき、言葉で伝え合い、思考を深めていく「学びの芽生え」を、たくさん感じていただきました。

今後も、幼小交流会や相互参観等で理解を深め、小学校での教科学習を見通した関連性のある体験が幼児期に十分できるよう、日々の保育で意識して取り組んでいきたいと思っております。
(文責:田口)



絵:ベネッセ教育総合研究所

「これからの幼児教育」

こどものつぶやき ~日常のエピソード~



2歳児エピソード
「Lonely Heart」

この頃、子どもたちに「先生のお家はどこ?」と聞かれることが増えました!
2歳児のAちゃんにも「先生のお家どこなの?」と聞かれ、冗談で「OOだよ!遊びに来る?」と誘ってみると、「Aは公園に行かないといけないから、先生のお家には行けない…」と…
なんだがフラれた気分の担任でした(笑)

1歳児エピソード
「むかしばなし?」

アンパンマンに夢中の保育部のお友達を見ながら、「あ〜、私も昔は見てたな〜」と、しみじみ話すTちゃん。
あれ?Tちゃんも1歳だよな…?
1歳児の昔話を聞いて、ふいふいと笑ってしまいました♡

4歳児エピソード
「一文字ちがい」

H「ぼく、この前お家で きんめだい 食べたんだ!」
M「ぼくのお家にもあるよ! きんめだる!」
H「おいしかったな〜!おっきかったよ!」
M「見に来ていいよ、いっぱいあるから! (?)」

お互いズレつつ、なんとなくで会話はつづいてゆくのでした…

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0021 盛岡市中央通一六―四七
TEL 019-231-2301
理事長 坂本 洋